



# 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98. 1. 28 No. 4727

## 銚子支部 第一七〇回乗務員分科定期総会 第一八〇回支部定期大会 同時開催

1月23日、労金銚子支店の会議室において、銚子支部第180回定期大会が開催された。大会は、田中君を議長に選出して開会。

冒頭あいさつにたった錦織支部長は、「大不況のなかで、昨年は一万六千数百社が倒産し、今年はその上回ると言われている。四月以降の看板がいつ落ちるかかわからない大失業・大倒産の時代に入る。われわれも11年前、20万人の仲間が路頭に迷わされた。この節目の時代に、われわれがどのような道を進むかが問われている。昨年われわれは、公労法が制定されて以降初めて、28名全員の解雇を撤回させる大勝利をかちとった。残された課題は、一〇四七名の闘いと塩漬けにされた仲間を奪い返すことだ。われわれに課せられた課題として、英知をだしあい邁進したい」と提起。

続いて、労金銚子支店長、本部中野委員長より来賓の挨拶を受け、議案の提起の後活発な質疑が行われ、満場一致で方針を採択、新執行体制を確立した。渡辺新支部長は、「11年間もの永い間支部長として頑張ってきた錦織さんからバトンを受けつぐことになりました。未

熟ですが、支部の責任者として、清算事業団闘争の勝利や強制配転粉砕に向けた風穴を開けるために、また錦織支部長が築いてくれた道をさらに前進させるために頑張る決意です」と、固い決意を述べ、大成功のうちに大会を終了した。

また、定期大会の前段では、新たな勤務指定制度に関する学習会と支部乗務員分科会の第17回定期総会が開催され、支部・分科をあげた新しい闘いの体制



が築かれた。

### 【だされた主な意見】

● 清算事業団闘争の今後の筋道について、どのように予想されるのか。

● 安全会議についての考え方は？

● 助勤等のうわさがあるが、今後の要員配の動きは？

● 降雪時に11時過ぎにアケた後「そのまま乗務してくれ」という不当な指示が行われたが、勤務に関する考え方は？

● 石出踏切等、危険踏切の改／成田南入換線の照明問題／B17行路の睡眠時間／酒々井での車両故障問題……等。

### 【支部新執行体制】

|      |       |
|------|-------|
| 支部長  | 渡辺 靖正 |
| 副支部長 | 越川 幸夫 |
| 書記長  | 伊藤 彰  |
| 執行委員 | 鈴木 貴雅 |
| 特 執  | 関根 一美 |
|      | 志賀 嘉夫 |
|      | 川越 日一 |
|      | 小瀬 倉  |
|      | 錦 織   |
|      | 鎌 形   |
| 会計監査 | 片山 敏雄 |

### 【乗務員分科新役員】

|      |       |
|------|-------|
| 会長   | 加瀬 利夫 |
| 副会長  | 庄田 聡  |
| 事務局長 | 永井 誠  |
| 委員   | 戸村 康之 |
|      | 君島 洋  |
| ダイ検  | 本網 哲香 |
|      | 笠井 隆二 |
|      | 遠藤 浩克 |
|      | 田中 克夫 |

胸つき八丁の正念場——被災者の叫びに応え

## 「被災支援連」の強化誓う

一月二十三日  
集会かちとる！

阪神大震災から三年目をむかえ、被災者は大失業のどん底の中で助けあい、励ましあいながら懸命にたたかっている。

集会は冒頭、黙とうを行い、犠牲者への追悼と新たな支援の強化を誓いあった。現地から、両親を失いながらもお兄さんと懸命に製靴業の再建にむけて奮闘している伊勢崎さんから、現状と「被災地雇用と生活要求者組合」への結集などが話された。三年という月日は、被災地・者のすさまじさについての認識が現地とその他で、大きくギャップが生じていることがわかった。金持ちと、そうでない被災者のあまりのギャップ、政府・行政の反動化の中で、震災に伴う孤独死・病死の増加にも関わらず、何ひとつ手を差しのべない国・県・市当局、こうした中で仲間が無惨に殺されているのだ。

仲間達は、生きるために闘い、闘うために団結を固め、反失業の先頭に立っている。「要求者組合」事務局長・宮武さんは心から「これからが正念場。われわれ被災地の反失業闘争を全国の仲間の反戦・反安保、大失業との闘いの大運動へと発展させ、人を人と扱わないこの国を根っこから変える闘いをつくろう」と訴えられた。

われわれは、闘っている被災地の叫びに応えよう。「被災支援連」の拡大の先頭に立とう。